

夢旅秋旅 4769 : 富士山奥庭・状況変化の兆し 117

夜道は、勿論だが、天候急変、まして、この季節の気温は、要注意。

九月に富士山・山頂まで五合目から日帰りした体験がある。上り**5**時間、下り**6**時間。

視界ゼロ。霧で、まったく見えない状況になった体験がある。

リスク管理で、ひつこく確認していたので、事なきを得た。優しさと怖さの両面を持つ自然。

何しろ、ひとり旅。アラスカや世界の旅。怖さは、身にしみている。臆病は勇気。

「女心と秋の空」という言葉もある。場所によっては、下記の状況。



時に、**変化の速さは、半端でない**。時の猶予も無くなるほど、早いこともある。
ここは日本だが、東西南北、自分の位置は確認しているが、世の中と同じ、油断できない。

それだけに、**気が許せる、居場所があることは、ありがたいこと**。

見えていた一本の木が、瞬く間に、消える。その速さは見事と言うしかない。
人生の旅、ひとり旅、嫌な考え方だが、標識や目印は必要だが、時に当てにならなくなる。

課題は、依頼心でなく、自律心と自立。心身健康維持に四苦八苦だが。

